



SYNESIS バージョン 8.5 リリースノート

2023-11-30

Version 8.5.1

2023-12-13: Version 8.0 からの仕様変更(2) REST APIv1 のサポート終了を追加

2023-12-14: モデル・現在のバージョン毎のアップグレード方式を追加

アップグレード

2 種類のアップグレード方法、アップグレードパッケージとリカバリメディアを提供します。

	アップグレードパッケージ	リカバリメディア
操作	下記 2 種類のパッケージをこの順で適用します 1. 拡張アップグレードパッケージ 2. SYNESIS V8.5 パッケージ	システムリカバリを実施します
所要時間	60~90 分	90~120 分
既存のデータと設定	引き継がれます	失われます
適用可能バージョン	V6.5.1 以降	全バージョン
適用可能モデル	次章に示すモデルです	

モデル・現在のバージョン毎のアップグレード方式は以下となります。

現在のバージョン	Version 6.5 ~ 8.0	Version 6.0 以前
モデル		
SYS-2G-EP3, SYS-4G-HPP3, SYS-10G-EP2, SYS-20G-HPP3, SYS-20G-HPRP, SYS-40G-HPP2	Version 8.5.1 のアップグレードパッケージを適用	Version 8.0.4 リカバリメディアによるシステムリカバリ後、Version 8.5.1 のアップグレードパッケージを適用
上記以外	同上	Version 8.5.1 リカバリメディアによるシステムリカバリ

アップグレード適用可能モデル

SYNESIS Portable		SYNESIS Distributed	
SYS-2G-EP3	SYS-50G-HPP	SYS-2G-ER2	SYS-10G-ER2
SYS-4G-HPP3	SYS-80G2-HPP3	SYS-4G-R	SYS-20G-HPR3
SYS-10G-EP2	SYS-100G-HPP2B	SYS-4G-R2	SYS-40G-HPR3
SYS-20G-HPP3	SYS-100G-HPP3	SYS-4G-R3	SYS-80G2-HPR3
SYS-20G-HPRP	SYS-200G-HPP2	SYS-8G2-HCR	SYS-100G-HPR3
SYS-40G-HPP2			

新規製造可能 P/N

Control Unit P/N			Capture Module P/N	
SYxB-2GP3	SYxB-100GP4	SYxB-10GR2	SYxC-1G4N1-HP	SYxC-10G4N1-HP
SYxB-4GP2	SYxB-200GP3	SYxB-10GR3	SYxC-1G4N1-LE	SYxC-10G4N1-LE
SYxB-10GP3	SYxB-2GR1-C	SYxB-10GR3-T	SYxC-1G4N2-HP	SYxC-10G4N2-HP
SYxB-20GP2	SYxB-2GR2-C	SYxB-20GR2 (*1)	SYxC-1G4I1-LE	SYxC-25G2N1-HPL
SYxB-20GP1-R10	SYxB-2GR2-CT		SYxC-1G2N1-HPL	SYxC-25G4N1-HP
SYxB-40GP2	SYxB-8GR1-C (*1)		SYxC-10G2N1-HP	SYxC-100G2N2-HP
SYxB-50GP2	SYxB-8GR2-C (*1)		SYxC-10G2N1-LE	

(*1) External Storage を増設可能です。

新機能

- 1) サポートする NPB タイムスタンプとして、Gigamon トレーラを追加しました。[#25050]
- 2) REST APIv2 にユーザ関連 API、統計情報関連 API、SIP レジスタ解析関連 API を追加しました。[#25729]
- 3) CLI によるログ収集機能をサポートしました。[#24450]
- 4) SYNESIS GUI のチャンネルアイコンをクリックしたときに表示するチャンネル状態ダイアログに、以下機能を追加しました。
[#25005]
 - チャンネル毎のアダプタ名表示
 - ボタンをクリックすることで Management Console のアダプタプロフィール画面を表示

Version 8.0 からの仕様変更

- 1) トレースファイルの保存を要求後まだ保存動作が開始されていない状態として「待機中」を追加しました。当状態を GUI では「待機中」、REST APIv2 では「Waiting」と表現します。[#25903]
- 2) Version8.0 を最後に REST APIv1 のサポートを終了しました。
 - サポートは終了しましたが、引き続き REST APIv1 を使用することは可能です。
 - 新規に REST API を利用する場合は、REST APIv2 を使用ください。

修正した不具合

- 1) リモートデスクトップと本体画面で同時に SYNESIS OS にログインすると、画面が操作不能になることがある不具合を修正しました。また、SYNESIS OS からログアウトした後も、まれに同現象が発生することが判明したため合わせて修正しました。[#25510]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生していました。
- 2) SIP Register 解析処理において、解析対象の SIP Register Response パケットに「@」:「;」のいずれの文字も含まない To フィールドが存在すると、解析モジュールがハンガアップする不具合を修正しました。[#27006]
 - ◇ 本不具合はバージョン 3.7 以降で発生していました。
- 3) SYNESIS GUI においてアダプタ SYxC-1G2N1-HPL のアダプタ名が「Synesis Adapter NT 10Gbps/1Gbps x2」と誤って表記される不具合を修正しました。[#26488]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生していました。

- 4) NPM 解析結果のフロー情報を CSV ファイルで保存した際に各種ビットレートの値が誤って Kbps 単位になっていたのを bps 単位に修正しました。[#27202]
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.5 より前のすべてのバージョンで発生していました。
- 5) ソフトウェアフィルタの VoIP フィルタで、遡り DNS 抽出処理による DNS パケットが多重抽出される不具合を修正しました。[#26278]
 - ◇ 本不具合はバージョン 6.0 以降で発生していました。
- 6) REST API 2.0 を使用してソフトウェアフィルタまたはハードウェアフィルタを連続して作成した場合に、2 回目以降のフィルタ作成に失敗することがある問題を修正しました。[#26241]
 - ◇ 本不具合はバージョン 6.0 以降で発生していました。

既知の不具合

- 1) アダプタ SYxC-100G2N2-HP を使用している SYNESIS において、アダプタプロファイルのリンク速度と一致しないトランシーバを装着したまま OS 再起動やアダプタプロファイルの変更をした場合、SYNESIS の機能が停止します。[#26888]
 - ◇ 本不具合はバージョン 5.0 以降で発生します。
 - ◇ アダプタプロファイルの変更をする前に装着されているトランシーバを外すことで本不具合を回避できます。
- 2) アダプタ SYxC-100G2N2-HP のポート 0 のリンクがアップしたときに、ポート 1 側の LED が点灯します。
 - ◇ 本不具合はバージョン 8.0 以降で発生します。